

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-79	高等学校	公民	倫理	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	倫理 007-901	詳述倫理 新訂版		

1. 編修の基本方針

- 第2条の目標を達成するため、次の通り編修した。
- ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う観点から、様々な先哲の思想や現代社会の諸問題を取り上げるようにするとともに、原典資料を多数掲載した。また、生徒が興味・関心を失わずに学習できるように、思想に関わる歴史的、社会的な背景にも触れるようにしたほか、各章・各節の導入部には、絵画や写真など視覚に訴える教材を大きく配置した（第1号）。
 - ・創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、生徒の思考力、判断力、表現力等の育成に資する問いかけを全編にわたって掲載した（第2号）。
 - ・正義と責任、男女の平等、自他の敬愛を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画しその発展に寄与する態度を養う観点から、生徒が人間としての在り方生き方について思索を深められるように、原典資料の読解を通じて人生観・倫理観・世界観について考察する特集「Skill Up」や古今東西の思想を比較の観点から考察するテーマ学習の特集「Theme」を章の途中や章末に設けた（第3号）。
 - ・生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うために、生命尊重の思想を唱えた思想家や、生命・環境倫理について詳述した（第4号）。
 - ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、日本思想史を詳述するとともに、日本の伝統・文化に関する写真を多数取り上げた。また、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、異なる文化や宗教をもつ人々との共生の在り方について記述した（第5号）。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う観点から、青年期の意義と自己形成の課題、人間の特質といった様々な人間の心の在り方について記述した（第1号）。 ・男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、友情と恋愛の意義について記述した（第3号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、生きがいや生きる意味を考察した神谷美恵子やフランク 	<p>p. 6～23</p> <p>p. 8～9</p> <p>p. 16～17</p>

	<p>ルの思想について記述した（第2号）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養う観点から，各節にさまざまな問いを設け，豊かな自己形成と他者と共によりよく生きる自己の生き方について，主体的かつ多面的・多角的に考察し，表現することができるよう工夫した（第2号）。 	各節
第2章	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培う観点から，人生観や世界観に関わる源流思想について詳述した（第1号）。 ・正義と責任，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養う観点から，アリストテレスの正義と友愛思想について記述した（第3号）。 ・自他の敬愛を重んずる態度を養う観点から，イエスの愛，イスラームの平等と同胞愛，孔子の仁愛の教えについて記述した（第3号）。 ・自他の敬愛を重んずる態度を養うとともに，生命を尊ぶ態度を養う観点から，慈悲や大乘仏教の教えについて記述した（第3号，第4号）。 ・幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養い，豊かな情操を培う観点から，人生における宗教と芸術の意義について記述した（第1号）。 ・自主及び自律の精神を養うとともに，自他の敬愛と協力を重んずる観点から，古今東西の思想を比較・整理して，愛について主体的かつ多面的・多角的に考察するテーマ学習のページを設けた（第2号，第3号）。 ・個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養う観点から，各節にさまざまな問いを設け，人間としての在り方生き方について，主体的かつ多面的・多角的に考察し，表現することができるよう工夫した（第2号）。 	<p>p. 24～73</p> <p>p. 36～37</p> <p>p. 44～45, 51, 65～66</p> <p>p. 58～61</p> <p>p. 74～75</p> <p>p. 76～77</p> <p>各節</p>
第3章	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培う観点から，人生観，倫理観，世界観に関わる西洋思想について詳述した（第1号）。 ・個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養う観点から，人文主義やモラリスト，実存主義の思想について記述した（第2号）。 ・真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培うとともに，自主及び自律の精神を養う観点から，資料読解を通じて，自然観について主体的かつ多面的・多角的に考察する特集ページを設けた（第1号，第2号）。 	<p>p. 78～137</p> <p>p. 78～85, 116～122</p> <p>p. 93</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養う態度や，正義と責任，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養う観点から，社会契約説やカント，ヘーゲル，功利主義，マルクスの思想について記述した（第2号，第3号）。 ・自主及び自律の精神を養う態度や，正義と責任，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養う観点から，資料読解を通じて，道徳的な行為について主体的かつ多面的・多角的に考察する特集ページを設けた（第2号，第3号）。 ・正義と責任，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養う観点から，サルトルやアレント，ハーバーマス，ロールズやセン，共同体主義の思想，社会参加の意義について記述した（第3号）。 ・生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養う観点から，シュヴァイツァーやガンディーの思想について記述した（第4号）。 ・真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培う態度や，自主及び自律の精神を養う態度，正義と責任，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養う観点から，古今東西の思想を比較・整理して，真理や正義，幸福について主体的かつ多面的・多角的に考察するテーマ学習のページを設けた（第1号，第2号，第3号）。 ・個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養う観点から，各節にさまざまな問いを設け，人間としての在り方生き方について，主体的かつ多面的・多角的に考察し，表現することができるよう工夫した（第2号）。 	<p>p. 94～109, 112～114</p> <p>p. 110</p> <p>p. 121～122, 131～135</p> <p>p. 130～131</p> <p>p. 138～139, 140～141, 142～143</p> <p>各節</p>
第4章	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培うとともに，伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から，人間観，自然観，宗教観などに関わる日本思想について詳述した（第1号，第5号）。 ・生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うとともに，伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から，日本の風土の特徴と日本人の気質の関わりや古代の日本人の自然観，南方熊楠や宮沢賢治の思想について記述した（第4号，第5号）。 ・自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養う観点から，中江藤樹や伊藤仁斎，荻生徂徠，本居宣長，二宮尊徳の思想について記述した（第3号）。 	<p>p. 144～193</p> <p>p. 144～146, 188～189</p> <p>p. 164～169, 171</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、天賦人権思想や自由民権思想、自我の確立をめざした文学者の思想について記述した（第2号，第3号）。 ・真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、西田幾多郎や和辻哲郎の思想，民俗学について記述した（第1号，第5号）。 ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について記述した（第5号）。 ・真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、自主及び自律の精神を養う観点から、資料読解を通じて、徳について主体的かつ多面的・多角的に考察する特集ページを設けた（第1号，第2号）。 ・真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う態度や、自主及び自律の精神を養う態度，生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、古今東西の思想を比較・整理して、自然について主体的かつ多面的・多角的に考察するテーマ学習のページを設けた（第1号，第2号，第4号）。 ・真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う態度や、自主及び自律の精神を養う態度，正義と責任，自他の敬愛を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、古今東西の思想を比較・整理して、善について主体的かつ多面的・多角的に考察するテーマ学習のページを設けた（第1号，第2号，第3号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、各節にさまざまな問いを設け、日本人としての在り方生き方について、主体的かつ多面的・多角的に考察し、表現することができるよう工夫した（第2号）。 	<p>p. 174～177, 182～183</p> <p>p. 185～188</p> <p>p. 190</p> <p>p. 191</p> <p>p. 194～195</p> <p>p. 196～197</p> <p>各節</p>
第5章	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う観点から、生命や自然，科学技術に関わる諸課題と倫理について詳述した（第1号）。 ・正義と責任，自他の敬愛と協力を重んずるとともに、生命を尊ぶ態度を養う観点から、生命への介入や、臓器移植，バイオテクノロジー，再生医療をめぐる課題について記述した（第3号，第4号）。 	<p>p. 200～215</p> <p>p. 200～205</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、地球環境問題の基礎的な内容や解決に向けた国際的な取り組み、環境倫理の思想について記述した（第4号）。 ・生活との関連を重視する態度や、正義と責任を重んずるとともに、生命を尊ぶ態度を養う観点から、情報社会の現状と課題や科学技術の進歩と課題、それらの課題の解決に向けた取り組みや技術者の倫理について記述した（第2号、第3号、第4号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、各節にさまざまな問いを設け、自然や科学技術に関わる諸課題について、主体的かつ多面的・多角的に考察し、表現することができるよう工夫した（第2号）。 	<p>p. 206～210</p> <p>p. 211～215</p> <p>各節</p>
第6章	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う観点から、社会と文化に関わる諸課題と倫理について詳述した（第1号）。 ・男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、少子高齢化や地域社会の課題、ケアの倫理、共生社会の実現に向けた取り組みについて記述した（第3号）。 ・自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う態度や、伝統と文化を尊重するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、多文化主義と宗教多元主義の思想や多文化共生のための試みについて記述した（第3号、第5号）。 ・他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、国際社会の平和をめぐる課題について記述した（第5号）。 ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、各節にさまざまな問いを設け、社会と文化に関わる諸課題について、主体的かつ多面的・多角的に考察し、表現することができるよう工夫した（第2号）。 	<p>p. 216～225</p> <p>p. 216～219</p> <p>p. 220～222</p> <p>p. 223～225</p> <p>各節</p>
3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育法第五十一条三項（社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと）に則して、多様なコラムや特集、問いかけを設けて、生徒が倫理的な課題に対して主体的かつ多面的・多角的に考察できるように配慮した。 		

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-79	高等学校	公民	倫理	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	倫理 007-901	詳述倫理 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

学校の多様な実態に照らし、生徒が自己形成と人間としての在り方生き方について思索を深めるにあたって、興味・関心をもって学習できるように、以下の点についてとくに配慮した。

- 1) 見返しには、倫理を学ぶ上での基本的な用語をまとめた「倫理の基礎知識」を設け、生徒がスムーズに読み進めることができるよう工夫した。また本文は、簡潔・平易な表現に努めるとともに、適宜具体例も用いて文章を読解しやすくした。
- 2) 「倫理思想」の叙述にあたっては、その思想に関わる歴史的、社会的な背景にも触れるように努めて、生徒の興味・関心を失わせないようにした。
- 3) 生徒が課題意識をもって本文を読み進めることを可能にするとともに、単元の主題を理解できるよう、各単元の冒頭に問いかけ文を設けた。
- 4) 第2章・第3章には、単元の学習の観点（人生観・倫理観・世界観といった倫理的な観点、テーマ）を把握できるように、「テーマ別インデックス」を設けた。また、上記の三つの倫理的な観点や「幸福、正義、真理」などのテーマにもとづいた学習をできるように、「テーマ別さくいん」を設けた。
- 5) 脚注は、本文の記述を補いその理解の助けになるとともに、より思索を深めるための手がかりとなるような記述とするように心がけた。また、学習上特に重要な用語は、特別な注（「Point」）を設け、その要点を整理した。
- 6) 人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の倫理、社会、文化などに関わる諸課題を考察したり解決に向けて構想したりする力を考察・構想したり、考察・構想したことを効果的にまとめたり、議論したりする力を養うため、各単元に、先哲の原典資料から情報を読み取り、考察する「Check」、本文で学んだことを活用して考察し、表現する「TRY」、参考意見をもとに現代の倫理的課題について主体的・対話的に考察する「Opinion」などのさまざまな問いを設け、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を身に付ける学習が一体となって展開され、深い学びができるよう工夫した。
- 7) 上記の問いに取り組むための技能を養うことができるように、原典資料の読み取り方や小論文の書き方、哲学対話のやり方をまとめた「Study Skills」を見返しや章末に設けた。
- 8) 本文での学習内容をもとに、複数の原典資料の読解を通じて、人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察する特集「Skill Up」を章の途中や章末に設けた。
- 9) 本文での学習内容をもとに、古今東西の思想をテーマの観点から比較・整理して、生徒が人間としての在り方生き方について多面的・多角的に思索を深められるように、テーマ学習の特集「Theme」を章末に設けた。
- 10) 各章・各節の導入部には、絵画や写真など視覚に訴える教材を大きく配置し、生徒の興味・関心を喚起し、本文と相補って学習内容が理解しやすいようにした。
- 11) 絵画や写真を有機的に配置して、宗教・思想の特長・流れを図解した特集ページ（「世界宗教の姿」「西洋近現代思想の系譜」「日本の宗教・思想の展開」）を設け、視覚的に知識の整理ができるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1章 自己形成と自己の生き方	A (1) ア (ア) 様々な人間の心の在り方	p. 6～23	5
第2章 人間としてのあり方生き方	A (1) ア (イ) 様々な人生観 (エ) 様々な世界観 (オ) 人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能	p. 27～75 p. 24～26 各節	17
第3章 社会・世界のあり方と人間としてのあり方生き方	A (1) ア (イ) 様々な人生観 (ウ) 様々な倫理観 (エ) 様々な世界観 (オ) 人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能	p. 78～85, 116～122, 130～131 p. 94～114, 131～135 p. 86～93, 115, 119, 123～129 各節	18
第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚	A (2) ア (ア) 日本人に見られる人間観, 自然観, 宗教観などの特質 (イ) 日本人としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能	p. 144～190 各節	15
第5章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理	B (1) 自然や科学技術に関わる諸課題と倫理	p. 200～215	3
第6章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理	B (2) 社会と文化に関わる諸課題と倫理	p. 216～225	2
		計	60